

西成・
飛田地区
商店街連合

お地蔵さんを巡って、2023年の福あつめ

お地蔵さん スタンプラリー

飛田地区商店街連合に所属する10の商店街で、お地蔵さんを巡るスタンプラリーを実施します。「飛田地区 お地蔵さんマップ」を手に、福を集めて回ってください!

抽選会

※商店街内に3ヶ所
設置予定。場所は当日、
告知看板でお知らせします

■実施期間: 1/20(金) 1/21(土) 1/22(日)

1/22(日)

★商店街の参加店で「お地蔵さんマップ」を受け取り、このスタンプ欄のあるチラシをもってGO!

*抽選は
1人1回
です!!

11:00~19:00

参加
方法

1. 商店街の参加店で配布する「飛田地区 お地蔵さんマップ」を手に対象のお地蔵さんを巡ろう!

①~⑫のスポット(お地蔵さん、記念碑、龍神さん、供養塚)が対象です!

参加
無料

2. お地蔵さんでスタンプを2つ集めたら、1月22日(日)抽選会場にお持ちください。

※抽選会場は商店街内に3ヶ所設置予定。
場所は当日、告知看板でお知らせします

3. ガラポン抽選会にて素敵な景品が当たります!

*抽選は1人1回です!!



飛田地区商店街連合

- 1 飛田本通商店街振興組合(動物園前1番街)
- 2 飛田本通中央商店会(動物園前2番街)
- 3 飛田本通本町商店会
- 4 飛田本通南商店会
- 5 飛田本通親栄会
- 6 今池本通商店会
- 7 山王市場通商店会
- 8 新開筋西商店会
- 9 新開筋中央商店会
- 10 新開筋東商店会

ココにスタンプ!

ココにスタンプ!

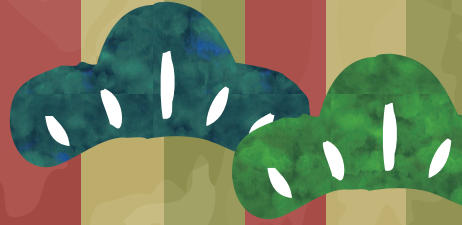


飴ちゃんみたいな
お地蔵さんの
キャラクター

「あめじぞう」

西成のお地蔵さんはとってもやさしいお地蔵さん。商店街も人にやさしくありたい。そんな思いがこの「あめじぞう」のキャラクターになりました。人と人をつなぐ「大阪のおばちゃんの飴」も少しイメージした?!

西成×お地蔵さんをテーマにした、
新作講談を披露！



2023
1/22
sunday

開場：お昼2時30分
開演：お昼3時
～約1時間程度

「地蔵正月」 創作講談の会

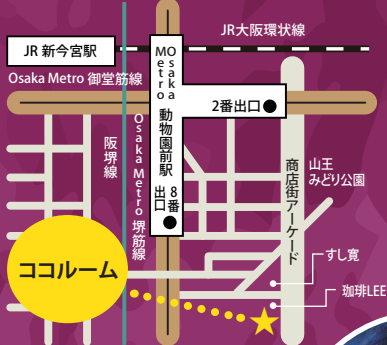
飛田地区商店街連合のある地域は、上方演芸発祥の地「てんのじ村」の歴史があります。そんな芸能のまちには、戦災を免れた多くのお地蔵さんが残っています。今回は旧正月に当たる1月22日を「地蔵正月」と名づけ、西成とお地蔵さんをテーマにした創作講談と、スペシャル対談を実施します。

【演目】
創作講談・旭堂南歩

スペシャル対談・旭堂南歩×狐狸窟彦兵衛
「西成、お地蔵さん、昭和、人情、そしてこれから」

【会場】
ココルーム 大阪市西成区太子2-3-3

Osaka Metro「動物園前駅」から徒歩約5分
JR「南海」新今宮駅「から徒歩約8分
★動物園前2番街にあります



参加無料
予約不要



本名：彦坂真一郎。上方噺研究者。
読売新聞記者。日本笑いの学会会員。落語ゆかりの地を歩いて歴史や文化を紹介する「落語散策講座」を開催。著書に「笑福亭純瓶と行く上方噺三十六景落語散策そぞろ歩き」。大阪成蹊大学などで非常勤講師を務めるほか、落語、講談の創作活動も。

作家
狐狸窟彦兵衛

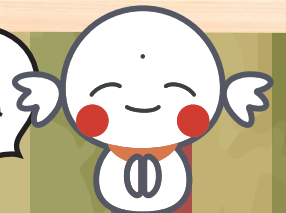
講師
旭堂南歩

2019年3月3日 旭堂南左衛門に入門。毎月の勉強会「万里の道も南歩から!」をはじめ、東京・博多・城崎など遠方での定例会「南歩ちゃん寄席」を開催。「凡人を偉人に」をテーマに、庶民を主人公にした一代記物語を創作・披露する「ヒューマン講談」で、全国各地の自宅からパーティ、イベントを訪ねる。

★この事業は経済産業省商店街の需要喚起事業
「がんばろう! 商店街」に採択されています。

お問合せ：地蔵正月&お地蔵さんスタンプラリー事務局 06-7410-3812(担当:足立)
主催：飛田地区商店街連合

裏面も
見てね





1 てんじ村碑
(上方演芸発祥の地)
かつてこの付近に400人の
芸人が住んでいた。1903年
の内国勸業博覧会となった
「新世界」に生まれた劇場に
出演するのに便利だった。

2 黒龍大神
明治末期まであった大池に
棲む大蛇をまつる祠として
「黒龍」「白龍」「天龍」を
建てた。黒龍大神の祠は、
近くにあった「阿部野水」
という湧水の守護神として
祀られたとも伝わる。

3 お地藏さん
西成区保健福祉センター分館

4 咳払地蔵
戦前、蔓延していた結核の
疫病退散などを願う地蔵で、
別の所から境内に移して
お祀りしている。

6 幸地蔵
台座に「釈浄信童子」と
子供の戒名がある。

5 立春地蔵
子どもが立派な社会人に
なるようにとの願いを込め
て建立されたといわれる。

7 地蔵大菩薩
山王保育所

8 猫塚
三味線の胴に張る「猫の皮」
を取るため、犠牲になった
猫を供養する塚。

10 水飲地蔵
山王市場通商店会

9 咳止地蔵
日之出温泉

12 お地藏さん
新開筋東商店会

13 天龍大神
金塚池が埋め立ての際、
地元の人々の夢枕にたった
池の主を祀る祠。

11 お地藏さん
西成永信
防災会館

お地藏さんを
巡って、
福あつめ♪

西成 飛田地区商店街連合

お地藏さん
マップ



飴ちゃんみたいな
お地藏さんのキャラクター

「あめじぞう」

西成のお地藏さんはとってもやさしいお地藏さん。
商店街も人にやさしくありたい。そんな思いがこの
「あめじぞう」のキャラクターになりました。人と人を
つなぐ「大阪のおばちゃん」も少しイメージした?!

地蔵菩薩とは

釈迦が亡くなった1500年後に訪れる「末法の世」に
衆生を救済するため「六道」を巡る仏様です。六道は、
「地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上」を指し、仏教では
成仏するまでこの六道を転生するとされます。地蔵
菩薩は、この成仏しない人々を救済するために現れる
仏で、鎌倉時代から戦国時代以降、血なまぐさい戦争に
明け暮れる時代には、地獄にまで救済に現れてくれる
地蔵への信仰が高まりました。地蔵は剃髪し、衣を着た
僧形で、右手に錫杖、左手に如意宝珠を持つ姿に作られ
ることが多く、常に六道を巡って人々を救い、あらゆる願いを
かなえてくれる姿を表現しています。また集落の出入口や
追分などに祀られて旅人の安全を見守る道祖神のような
役割を期待されました。村はずれなどにある六地蔵は、
六道を巡る地蔵の分身として六体作られています。

地域のお地藏様

大阪メトロ「動物園前」駅周辺の商店街の地域は、明治時代に開かれた第5回
内国勸業博覧会の跡地に開発された新世界と南方の周辺地域を結ぶ紀州街道
沿いに新しく開発された地域で、それまで田だった場所に多くの人が移り住んで
集落を形成しました。集落ごとに、地域の人たちによって地蔵尊が祀られ、現在も
たくさん残っています。しかし、高齢化や町の再開発などで、地域社会でお守りが
できなくなった地蔵尊も多く、廃止されたり、寺院の境内に移されたりするケースも
増えてきています。明治時代に多くの人が流入した場所では、当時「国民病」とい
われた結核の「疫病退散」を願う「咳止地蔵」「咳払地蔵」などの名がつけられました。
また智崇院の境内にある「立春地蔵」は、子供たちが立派な社会人に育つよう
という願いが込められたといわれ、「幸地蔵」は、台座に「釈浄信童子」と子供の
戒名が記されていて、亡き子供の霊を慰め、また地域の子供たちを守ってほしい
という願いが込められていることが推測されます。それぞれの由緒などは詳しく
伝わらないケースが多くなっていますが「出世地蔵」や「子供地蔵」などの名が
残っており、それぞれ地域の人たちの願いの籠ったお地藏様であったようです。